

おお大勝利

令和3年度 山東サッカー一部報第6号 (10月13日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

選手権 2回戦山南に完敗

10月9日(土)、10日(日)全国高校サッカー選手権山形県大会の1回戦と2回戦が行われました。公式戦自体2か月以上ぶり。久しぶりに選手の成長を確かめる機会が選手権とは！ 年甲斐もなくワクワクしてしまいました、今大会。

さて、**1回戦の相手は南陽高校**。スタッフとして登録している**山東サッカー一部後援会名誉会長清野さん、報道局長後藤さん、そして後援会現会長にして山形県サッカー協会副会長の岸さん**がいつものようにいらっしゃる。南陽高校の情報は全くない。ただ、県リーグ3部で苦しい戦いを強いられた結果だけが入っている。選手がピッチで感じ取り、対応するしかない。

試合が始まると、最初から動きが硬い。シンプルに技術がないと言っているのかもしれないが、「試合勘が鈍っている」と格好つけて表現させてください。若干山東が優勢ではあるが、相手にも個の力のある選手がおり、その選手を人数の揃っている山東守備陣が緩慢にも自由にするものだから、相手にもしっかりと攻め込まれる。前半相手CB裏への誰かのループパスを**1年左SHマサツナ**が見たこともないような絶妙トラップでピタリとボールを収め、ノーバウンドだったかワンバウンドだったか遠くで見えなかったが、とにかくトラップから素早く右足ボレーシュートを放つ。相手ゴールど真ん中、目の前にはGKしかいないという場所での絶好の得点機。しかし、うまかったのはトラップまでで、シュートは急角度で左にそれていった。「だから『シュートはGKの正面狙え』って言っただろう」とベンチで憤る。そうなんです、彼、キックが狙ったところに飛ばず、シュートはいつも大きくそれるものだから、「お前は狙ったところにボールが行かなんだから、ゴールの両脇は狙うんじゃない。GK正面めがけて蹴れ¹。」と練習からコーチングしているし、この試合もわざわざ試合前に念押ししておいた。それなのに・・・やはりズバツとGKのいない所のゴールに蹴り込みたくなるんですね。あ、もしかしたら正面めがけて蹴ったのがあのシュートになったのかもしれない。そこは本人に確かめてない。とまあ、前半の最大の見せ場はここだったか。あとは、**この夏にCBからFWにコンバートされた2年カナチョロことカナタ**が抜け出して何本かシュートを打つも、決まらず。前半スコアレス。

後半になると、山東の守備が積極的になり、相手のボールをすぐ回収して攻め続ける時間が多くなる。山東の攻勢。試合前、「前半粘っても後半崩れる戦いが多い。体力が山東の課題。今日は後半も落ちずに戦おう。」と呼びかけていましたが、相手の事情もあり、後半の方がよっぽどいい出来だった。**ボランチの2年グッチとシュンスケ**のパス交換も増え、試合を落ち着かせていた。そんな中、**やはり得点したのはカナタ**。相手の裏を突く動きから浮き球のボールに対

¹ 本当はGKの股間を狙えと表現していました。私は股の間(足と足の間の隙間)を狙えという意味で言っていたのですが、彼は「本物の股間」と言いますか「股間の本物」と言いますか、そこを狙えという指示(GKを再起不能にせよという指示?)だと思っていたというのは、2回戦前の笑えない実話。

してシャペウ²で飛び出す GK を交わし、無人のゴールに蹴り込む。**2 点目は CK のごちゃごちゃだったかを 2 年ボラン千、シュンスケ**が決め、何とか複数得点。山東は来年 3 部に降格するとはいえ、今年まで 2 部にいた意地を見せたかった。まあ、最低限の結果は出したということ。結局 2-0 での勝利。

10 日曜日の相手はシード校の山形南。進学校大会で 1 週間前に対戦しているものの、公式戦での対戦は別物。力の上の山南が「内容の伴った結果」を求めてくるだろうが、山東としてはそこが狙い目。山東はどんな内容でもいいから結果だけ欲しい。この日は前日の米沢市営人工芝サッカーフィールドから会場を移して、白鷹町の東陽の里が会場。天気も良く、かといって暑すぎない。絶好の試合日和。前日のお三方が今日もいらっしゃる。保護者は・・・ネットの外まで視界は届きませんでした！

試合が始まると、山南も硬い立ち上がりのように感じましたが、やはり徐々に山南がペースを握る。特に、**左サイドでボールを落ち着けての攻撃が止めづらい**。**1 年右 SH リュウキ**は頑張っているが守備力の高い選手ではないし、**2 年右 SB ゴッチャン**は体は利くものの読みで勝負するタイプではない（それらの力の向上も今後期待したい）。左サイドで試合を作られそのままシュートまで持って行かれたり、逆サイドに展開して右からフィニッシュに至ったり。対する山東は、シンプルにカナタを使う作戦。それにグッチが絡む。一度カナタが相手 CB を振り切り、GK と 1 対 1 になりそうだったが、相手の戦術的ファールに阻まれた。また、ペナルティエリア内で相手が足を上げる「危険なプレー」から間接 FK を得たのもチャンスではあった。ペナルティエリア内の間接 FK がなかなか決まらない「サッカーあるある」を地で行く可能性の低いシュートで好機を逃す。山南は何度か得点機があったものの、外したり山東の選手の体を張った守備に阻まれたりして、**結局前半両チームスコアレス**。

山東からすれば、前半ゼロゼロは御の字。このまま粘り、山南の焦りを誘い・・・ともくろみましたが、**後半 FK からヘディングシュートで失点すると、あとはズルズルと 4 失点**。攻撃は、一度やはりカナタが相手 CB のミスをとがめて抜け出しシュートを放つも、得点には至らず。**前半もカナタ頼みでしたが、グッチが絡んだりの展開がまだあった。後半は本当に「カナタしかいなかった**」。攻められる展開だったので、前半から**2 年 GK ジャッカルことソーゴ**は好セーブを見せていた。後半も及第点ではあるが、ハイボールに対してもっとチャレンジしてほしい。今後の課題。ただ、彼、**GK 始めて 1 年しか経っていない**ですからね。高橋コーチも「いやあ、あれできるか・・・」としばしば試合を観ていて感嘆の声を上げるほど、成長が早い。お調子者の性格が出過ぎず、トレーニングを積めば、かなり良い GK になれる。**引退した 3 年コーセー**を手本にトレーニングできたのは幸運だったが、それにしてもジャッカルの成長は早い。対して、1 年生（全員）の成長の遅さが気になる。「おっ、伸びてきたな～」と実感させてくれるのは冬を越さないダメなのか。ともかく、後半は良いところなく、山南にやられてしまった。**結局 0-4 の完敗。今期 1 部で山商を下して 7 位フィニッシュした山南の底力をみました**。

山南に完敗を喫すると、山東でサッカーしようか山南にしようか迷っている選手が、「山南の方が魅力的だ」と感じて、移ってしまうんですね～。**以前山南サッカー部顧問もしていた現山東顧問の久世先生**の「山南には負けてはいけない」という試合前の檄に応えることはできませんでした。残念で力が抜けました。ただ、今期まだ新人戦があります。11 月 3 日の**初戦に勝ちますと、土日宿泊をする予定**でいます。今後も応援よろしくお願いします。

11 月 3 日（水） 県新人 1 回戦 酒田東戦 @酒田市光ヶ丘球技場 13:30～

² ポルトガル語で帽子の意味。浮き球で相手の頭上を越えて抜くこと。

それに勝つと 11月5日(土) 県新人2回戦 山形中央戦 @酒田市北港緑地 13:30~
それに勝つと 11月6日(日) 県新人3回戦 酒西対鶴高専の勝者 @酒田市飯森山 10:30~